

1. 媒体作成条件

項番	項目	内 容							
1	作成単位	ご契約の発信電話番号単位に収録します							
2	作成対象サービス	メンバーズネット（ホスナー括送付）							
3	フォーマット形式	3.5インチFD				CD-R	MO	EDI解凍時	
		2HD		2DD				2HD	
		1.25 MB	1.44 MB	640 KB	1.25 MB	650 MB	128 MB	1.25 MB	1.44 MB
4	最大出力件数 （圧縮時）	9,500	11,000					9,500 レコード*	11,000 レコード*
		(76,000)	(88,000)			圧縮なし			
5	使用コード	MS-DOS: JISコード IBM: EBCDICコード				MS-DOS: JISコード			
6	レコード長	MS-DOS: 固定長 128バイト+2バイト （復帰、改行コードが付加されます） IBM: 固定長 128バイト				MS-DOS: 固定長 128バイト+2バイト （復帰、改行コードが付加されます）			
7	ファイル形式	MS-DOS: 固定長テキストファイル形式 IBM: 固定長ファイル形式 （1枚に収容しきれない場合は、 同一ファイル名で、複数枚作成 します。）				MS-DOS: 固定長テキストファイル 形式。			
8	ファイル名	<b>【FD、MO、CD-R】</b> R+会社コード（会社コード→弊社がお客さま識別する ために付与した識別コード5桁） 例：R12345 圧縮時：R+会社コード+拡張子 例：R12345nn.exe（nn：媒体作成通番）						データ保存時、お 客様にて任意設 定。	
<b>【EDI】</b> Z+請求回数（0～9）+請求年（和暦2桁）+月（1 ～9、A、B、C）+群（1～9、A～V）+通番（0 1～99）									

<圧縮について>

お客さま提供データの圧縮希望時は、フリーソフトウェアの「高圧縮管理プログラムLHA」を使用し、自己解凍形式（プログラム形式）で圧縮します。

【圧縮したデータの解凍手順】

- （1） 実行ファイル（拡張子.exeのファイル）をハードディスク等にコピーし、ダブルクリックします。
- （2） 実行ファイルが自動的にパケット番号別明細内訳書の各ファイルを読み出してファイルの復元を行います。

2. ファイル構成

共通管理レコード	電話番号 1										電話番号 2			
	サービス区分 「03」（アナログメンバーズ回線） 若しくは 「13」（INSメンバーズ回線）					サービス区分 「10」（クレジット）					サービス区分 n			
	電番管理レコード	通話明細レコード	～	通話明細レコード	電番合計レコード 1			電番管理レコード	通話明細レコード	～	通話明細レコード	電番合計レコード 3		
					利用区分 1	～	利用区分 n					利用区分 1	～	利用区分 n

～	最終記録電話番号												終了レコード		
	サービス区分 「03」（アナログメンバーズ回線） 若しくは 「13」（INSメンバーズ回線）						サービス区分 「10」（クレジット）								
	電番管理レコード	通話明細レコード	～	通話明細レコード	電番合計レコード 1		電番合計レコード 2		電番管理レコード	通話明細レコード	～	通話明細レコード		電番合計レコード 3	
					利用区分 1	～	利用区分 n	利用区分 1						～	利用区分 n

- (注1) 各合計レコードは、利用区分別に作成します。なお、利用区分の通話をご利用されていない時は、当該利用区分の合計レコードは作成されません。
- (注2) 「電番合計レコード2」はメンバーズホスト課金グループ計で、全回線数の合計が最終記録電話番号データのところで出力されます。なお、利用区分後毎のレコードは次のとおりです。

利用種類		
サービス区分	利用区分	
スペース	6 1	割引グループのオンネット接続分合計
	6 2	割引グループのオフネット接続分合計
	6 4	割引グループのサークルネット接続分合計
	6 9	割引グループの総合計 【つぎの計算式で算出】 オンネット接続分合計 + オフネット接続分合計 + サークルネット接続分合計

- (注3) サービス区分「10」（クレジット）のレコードについては、クレジット通話明細を申し込まれた場合に作成します。（クレジットをメンバーズネットの同一媒体に記録する場合）

3. レコード構成

(1) 共通管理レコード

レコード識別	媒体識別	予備	ファイル作成日付	料金月	料金群	媒体通番	明細送付代表番号	予備	請求回数	詳細群	予備
1	2	6	6	4	1	2	12	2	1	1	90

(128桁)

(2) 電番管理レコード

レコード識別	明細送付代表番号	予備	子電話番号	予備	サービス区分	利用区分	送付明細呼数	利用月日初日	利用月日末日	各種サービス番号	契約者回線番号	グループセキュリティ	出力形式	利用内訳コード	お客様番号	ロケーションコード	ソートパターン	予備
1	12	2	13	1	2	2	7	6	6	11	13	6	1	2	13	16	1	13

(128桁)

(3) 通話明細レコード

レコード識別	明細送付代表番号	予備	子電話番号	サービス区分	利用区分	通信元電話番号	通話月日	通話開始時刻	着信電話番号	県名コード	通話時間	通話料金1	通話料金2	通話料金3	発信県名コード	通話種別コード	昼夜別コード	フリーダイヤルサービス種別	発MAコード	予備
1	12	2	13	2	2	13	4	6	13	2	8	10	10	10	2	3	3	1	3	8

(128桁)

(4) 電番合計レコード

レコード識別	明細送付代表番号	予備	子電話番号	サービス区分	利用区分	予備	合計金額	その他計	加減算計	未送付計	請求分計(割引適用分)	請求分計(通常通話分)	I識別コード	予備
1	12	2	13	2	2	1	9	9	9	9	9	9	1	40

(128桁)

(5) 電番合計レコード（クレジット通話分）

※クレジット通話明細送付をお申し込みの場合に作成します。

レコード識別	明細送付代表番号	予備	子電話番号	サービス区分	利用区別	予備	合計金額	月間減算額	区域内合計金額	非希望区合計金額	請求額	通話時間	予備
1	12	2	13	2	2	1	9	9	9	9	9	10	40

平成 23 年 3 月にサービス終了

(128 桁)

(6) 終了レコード

レコード識別	FD枚数	総出力レコード数	予備
1	2	9	116

(128 桁)

## 4. レコード内容

## (1) 共通管理レコード

項番	項目名	区分	桁数	内容
1	レコード識別	文字	1	「1」固定
2	媒体識別	文字	2	提供媒体種別を設定 FDの場合…「FD」 MOの場合…「MO」 CD-Rの場合…「CD」 EDIの場合…「ED」 ビリングステーションご契約の場合…「BS」(注1)
3	予備	文字	6	
4	ファイル作成日付	文字	6	YYMMDD（YYは和暦） 例：平成11年12月1日→「111201」
5	料金月	文字	4	YYMM（YYは和暦） 例：平成11年12月→「1112」
6	料金群	文字	1	「1」～「6」を設定 詳細は、項番5コード表「料金群・詳細群」を参照
7	媒体通番	数字	2	「01」～「99」を設定
8	明細送付代表番号	文字	12	明細一括送付IDを設定 例：「123456789012」（カッコ、ハイフン編集無し）
9	予備	文字	2	
10	請求回数	文字	1	同一請求番号で、同一期別内に請求書を発行した回数 （料金群変更時等） ※再発行は対象外 ※回数は0から起算。例：初回請求時「0」
11	詳細群	文字	1	詳細群を「A」～「V」、「1」～「9」で設定 詳細は、項番5コード表「料金群・詳細群」を参照
12	予備	文字	90	

(注1)：ビリングステーションとは、電話等サービスの「料金・通話明細データ」を専用Webサーバーからダウンロードできるオンラインサービスです。

## (2) 電番管理レコード

項番	項目名	区分	桁数	内容
1	レコード識別	文字	1	「2」固定
2	明細送付代表番号	文字	12	明細一括送付IDを設定 例：「123456789012」 （カッコ、ハイフン編集なし）
3	予備	文字	2	
4	子電話番号	文字	13	発信電話番号を設定 （クレジットサービスの場合は、課金先電話番号） 例：「(03)1234-5678」 （カッコ付きハイフン編集）
5	予備	文字	1	
6	サービス区分	文字	2	サービス区分を設定 例：アナログメンバーズ→「03」 INSメンバーズ→「13」 クレジット→「10」
7	利用区分	文字	2	オールスペースを設定
8	送付明細呼数	文字	7	通話回数を設定（右詰め、余白は「0」埋め） 例：「0000789」
9	利用月日初日	文字	6	ご利用期間初日を表示 YYMMDD（YYは和暦） 例：「110801」
10	利用月日末日	文字	6	ご利用期間末日を表示 YYMMDD（YYは和暦） 例：「110831」
11	各種サービス番号	文字	11	クレジットサービスの場合は登録番号1桁（スペース又は「0」～「9」）を設定（下10桁はスペースを設定） 上記以外の場合、オールスペースを設定
12	契約者回線番号	文字	13	オールスペースを設定
13	グループセキュリティ	文字	6	オールスペースを設定
14	出力形式	文字	1	サービス区分：「13」（INSメンバーズ）の場合 発信者番号通知有り→「3」 発信者番号通知無し→「4」 上記以外の場合、「1」を出力
15	利用内訳コード	文字	2	ご利用内訳コードを設定 例：NTTコミュニケーションズ→「03」 携帯電話会社→「04」 PHS会社→「05」 ポケットベル会社→「06」
16	お客様番号	文字	13	オールスペースを設定。
17	ロケーションコード	文字	16	オールスペースを設定
18	ソートパターン	文字	1	オールスペースを設定
19	予備	文字	13	

## (3)通話明細レコード

項番	項目名	区分	桁数	内容
1	レコード識別	文字	1	「3」固定
2	明細送付代表番号	文字	12	明細一括送付IDを設定 例：「123456789012」（カッコ、ハイフン編集なし）
3	予備	文字	2	
4	子電話番号	文字	13	発信電話番号を設定 （クレジットサービスの場合、課金先電話番号） 例：「(03)1234-5678」（カッコ付きハイフン編集）
5	サービス区分	文字	2	サービス区分を設定 例：アナログメンバーズ→「03」 INSメンバーズ→「13」 クレジット→「10」
6	利用区分	文字	2	オールスペースを設定
7	通信元電話番号	文字	13	サービス区分＝「13」（INSメンバーズ）で出力形式＝「3」（発信者番号通知有り）の場合、発信者番号を設定。例：「1234-5678△△△△」（左詰め、余白スペース、市外局番は表示しません） サービス区分＝「10」（クレジット）の場合、会員番号を設定。例：「1234567890△△△」（左詰め、余白はスペース） 上記以外はスペースを設定
8	通話月日	文字	4	通話毎の発信月日（MMDD） 例：7月1日→「0701」
9	通話開始時刻	文字	6	通話毎の開始時刻（HHMMSS） 例：14時3分1秒→「140301」
10	着信電話番号	文字	13	通話先電話番号（右詰め、余白スペース） 例：「△03-1234-5678」 11桁電話番号は以下の編集となります 例：「090-123-45678」
11	県名コード	文字	2	県名コードを設定 詳細は、「ダイヤル通話料金明細内訳書各種コード表」の県名コード表を参照
12	通話時間	文字	8	通話毎の通話時間を設定（HHHMMSS） 例：8.0秒の場合→“00000080” 1分12.5秒の場合→“00001125” 1時間25分6.0秒の場合→“00125060” （秒については、0.5秒単位で表示します）

## (3) 通話明細レコードの続き

項番	項目名	区分	桁数	内容
13	通話料金 1 ※INS-VPN以外の 場合、通話料をセット ※INS-VPNの場合、 遠距離通話・通信料をセッ ト	文字	10	通話料金（小数点第1位まで）を設定 （右詰め、余白は「0」埋め、下1桁は小数点第1位） 例：10円の場合→「0000000100」 例：20.5円の場合→「0000000205」  番号案内「104」の場合、回数を設定  エンジェルライン、あんないゾースご利用時の情報料は、 検索回数を設定 （右詰め、余白は「0」埋め、下1桁は小数点第1位） 例：10回の場合→「0000000100」
14	通話料金 2 ※INS-VPNの場合、 近距離通話・通信料をセッ ト	文字	10	サービス区分＝「13」（INSメンバーズ）でかつ着 信側（携帯）のMAが発信側と異なる場合（市外通 話のイメージ）、遠距離通話として項目「通話料金 1」に料金が設定。 サービス区分＝「13」（INSメンバーズ）でかつ着 信側（携帯）のMAが発信側と同じ場合（市内通話 のイメージ）、近距離通話として項目「通話料金2」 に料金が設定。
15	通話料金 3 ※INS-VPNの場合、 その他通話・通信料をセッ ト	文字	10	
16	発信県名コード	文字	2	オールゼロを設定
17	通話種別コード	文字	3	通話種別コードを設定 例：ワネット(メンバーズ)→「040」 ワネットINS通話→「081」 詳細は、「ダイヤル通話料金明細内訳書各種コード 表」の通話種別コードを参照
18	昼夜別コード	文字	3	通話時間帯（昼夜別コード）を設定 例：昼間→「000」 詳細は、「ダイヤル通話料金明細内訳書各種コード 表」の昼夜別コードを参照
19	フリーダイヤル サービス種別	文字	1	スペースを設定
20	発MAコード	文字	3	発信MAコードを設定 詳細は、「ダイヤル通話料金明細内訳書各種コード 表」の発MAコードを参照 ただし、サービス区分＝「13」（INSメンバーズ） の場合、着信側のMA名が設定。 また着信が携帯の場合、携帯が着信したMA名が設 定。
21	予備	文字	8	

## (4)電番合計レコード

項番	項目名	区分	桁数	内容
1	レコード識別	文字	1	「5」固定
2	明細送付代表番号	文字	12	明細一括送付IDを設定 例：「123456789012」（カッコ、ハイフン編集なし）
3	予備	文字	2	
4	子電話番号	文字	13	発信電話番号を設定 （クレジットサービスの場合、課金先電話番号） 例：「(03)1234-5678」（カッコ付きハイフン編集）
5	サービス区分	文字	2	サービス区分を設定 例：アナログメンバーズ→「03」 INSメンバーズ→「13」 クレジット→「10」 利用区分が（合計）単位の場合、スペースを設定
6	利用区分	文字	2	集計単位となる利用区分を設定 例： オンネット通話料／通信料→「51」 オフネット通話料／通信料→「52」 メンバーズネット通話料／通信料→「59」 オンネット通話料／通信料（合計）→「61」 オフネット通話料／通信料（合計）→「62」 メンバーズネット通話料／通信料（合計）→「69」 詳細は、「ダイヤル通話料金明細内訳書各種コード表」の利用種類コードを参照
7	予備	文字	1	
8	合計金額	文字	9	ご利用期間内の通話料金明細レコードの合計金額を設定。（右詰め、余白は「0」埋め） 例：10円の場合→「000000010」
9	その他計	文字	9	オールゼロを設定
10	加減算計	文字	9	オールゼロを設定
11	未送付計	文字	9	オールゼロを設定
12	請求分計 （割引適用分）	文字	9	オールゼロを設定
13	請求分計 （通常通話分）	文字	9	オールゼロを設定
14	I識別コード	文字	1	アナログメンバーズ→スペースを設定 INSメンバーズ（通話モード）→「1」 INSメンバーズ（デジタル64kb）→「2」
15	予備	文字	40	

(5) 電番合計レコード（クレジット通話分）  
 ※クレジット通話明細の送付をお申込みの場合に作成します。

項番	項目名	区分	桁数	内容
1	レコード識別	文字	1	「5」固定
2	明細送付代表番号	文字	12	明細一括送付IDを設定 例：「123456789012」（カッコ、ハイフン編集なし）
3	予備	文字	2	
4	子電話番号	文字	13	発信電話番号を設定 （クレジットサービスの場合、課金先電話番号） 例：「(03)1234-5678」（カッコ付きハイフン編集）
5	サービス区分	文字	2	クレジット→「10」
6	利用区分	文字	2	利用区分を設定 例：クレジット通話料（自動）→「01」 詳細は、「ダイヤル通話料金明細内訳書各種コード表」の利用種類コードを参照
7	予備	文字	1	
8	合計金額	文字	9	この期間中の通話料明細レコードの合計金額を設定。（右詰め、余白は「0」埋め） 例：10円の場合→「000000010」
9	月間加減算額	文字	9	オールゼロを設定
10	区域内合計金額	文字	9	オールゼロを設定
11	非希望時合計金額	文字	9	オールゼロを設定
12	請求額	文字	9	合計金額（項番8）と同額を設定
13	通話時間	文字	10	通話毎の通話時間を設定（HHHHMMSS） 例：8.0秒の場合→「0000000080」 1分12.5秒の場合→「0000001125」 1時間25分6.0秒の場合→「0000125060」 （秒については、0.5秒単位で表示します）
14	予備	文字	40	

平成23年3月にサービス終了

(6) 終了レコード

項番	項目名	区分	桁数	内容
1	レコード識別	文字	1	「9」固定
2	FD枚数	文字	2	「01」～「99」
3	総出力レコード数	文字	9	総レコード数を設定 （共通管理レコード、終了レコードを含む）
4	予備	文字	116	

5. コード表「料金群・詳細群」

料金群は、弊社（NTTCom）が、お客様のお支払い期限に合わせて「1(A)」～「6(F)」で設定、詳細群は「A」、「F」、「L」、「Q」、「V」、「5」で設定します。

群		詳細群	毎月のお支払期限 (標準)	ご利用料金の計算期間
数字	英字			
1	A	A	20日	前々月の21日～前月の20日
2	B	F	25日	前々月の26日～前月の25日
3	C	L	31日	前月の1日～前月の末日
4	D	Q	5日	前月の6日～当月の5日
5	E	V	10日	前月の11日～当月の10日
6	F	5	15日	前月の16日～当月の15日

【注】お支払期限が、土曜日、日曜日、祝日の場合、翌営業日がお支払い期限となります。

6. マイナス金額時の記録形式

(1) IBM (EBCDICコード)

マイナス金額	表示形式	内訳金額欄								
		1桁目	2桁目	3桁目	4桁目	5桁目	6桁目	7桁目	8桁目	9桁目
-100	文字	0	0	0	0	0	0	1	0	}
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D0
-101	文字	0	0	0	0	0	0	1	0	J
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D1
-102	文字	0	0	0	0	0	0	1	0	K
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D2
-103	文字	0	0	0	0	0	0	1	0	L
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D3
-104	文字	0	0	0	0	0	0	1	0	M
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D4
-105	文字	0	0	0	0	0	0	1	0	N
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D5
-106	文字	0	0	0	0	0	0	1	0	O
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D6
-107	文字	0	0	0	0	0	0	1	0	P
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D7
-108	文字	0	0	0	0	0	0	1	0	Q
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D8
-109	文字	0	0	0	0	0	0	1	0	R
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D9

注：F0～F9：数字「0」～「9」の16進数表示。  
D0～D9：マ付サイン付き数字「0」～「9」の16進数表示。

(2) DOS (JIS8コード)

マイナス 金額	表示 形式	内訳金額欄									
		1 桁 目	2 桁 目	3 桁 目	4 桁 目	5 桁 目	6 桁 目	7 桁 目	8 桁 目	9 桁 目	10 桁 目
-100	文字	-	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	30
-101	文字	-	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	31
-102	文字	-	0	0	0	0	0	0	1	0	2
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	32
-103	文字	-	0	0	0	0	0	0	1	0	3
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	33
-104	文字	-	0	0	0	0	0	0	1	0	4
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	34
-105	文字	-	0	0	0	0	0	0	1	0	5
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	35
-106	文字	-	0	0	0	0	0	0	1	0	6
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	36
-107	文字	-	0	0	0	0	0	0	1	0	7
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	37
-108	文字	-	0	0	0	0	0	0	1	0	8
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	38
-109	文字	-	0	0	0	0	0	0	1	0	9
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	39

注、2D：マイナス「-」の16進数表示。30～39：数字「0」～「9」の16進数表示。